

平成 2 7 年

海部南部消防組合出初式



平成 26 年海部地方五署合同消防訓練（弥富市富浜）

日 時 平成 2 7 年 1 月 9 日（金） 午前 9 時

場 所 海 部 南 部 消 防 署 訓 練 場

平成27年海部南部消防組合出初式次第

日 時 平成27年1月9日(金) 午前9時
場 所 海 部 南 部 消 防 組 合

(本 部 旗 、 署 旗 に 敬 礼)

- 1 開 式 の こ と ば
- 2 国 旗 掲 揚
- 3 観 閲 者 に 敬 礼
- 4 通 常 点 検
- 5 機 械 器 具 点 検
- 6 御 嶽 山 噴 火 災 害 活 動 報 告
- 7 梯 子 乗 り 演 技
- 8 一 斉 放 水
- 9 表 彰
- 10 観 閲 者 訓 示
- 11 来 賓 祝 辞
- 12 火 の 用 心 三 唱
- 13 観 閲 者 に 敬 礼
- 14 国 旗 降 納
- 15 閉 式 の こ と ば

平成２６年中の火災概要

平成２６年中の組合管内における火災件数は３３件でした。前年比で件数は６件の減少となりました。

出火原因については、放火・放火の疑いが最も多く９件でした。

また、火災により１０名の負傷者が発生しました。

市 村 名		弥 富 市	飛 島 村	合 計
種 別				
出 火 件 数		１ ８	１ ５	３ ３
内 訳	建 物 火 災	７	４	１ １
	車 両 火 災	２	２	４
	船 舶 火 災	１		１
	そ の 他 の 火 災	８	９	１ ７
負 傷 者 数		７	３	１ ０
死 者 数				
損 害 額（千 円）		１，３４１	４，５８７	５，９２８

※ 損害額は、調査中の９件を含まない数値です。

平成２６年中の救急概要

平成２６年中の救急出動件数は２，４００件でした。前年比で件数は２５件の減少となりました。

種別については、急病、交通事故、一般負傷、労働災害の順で出動件数が多く、１日当たりになると約６．６件の出動となり、住民の２０人に１人が救急車で搬送されたことになります。

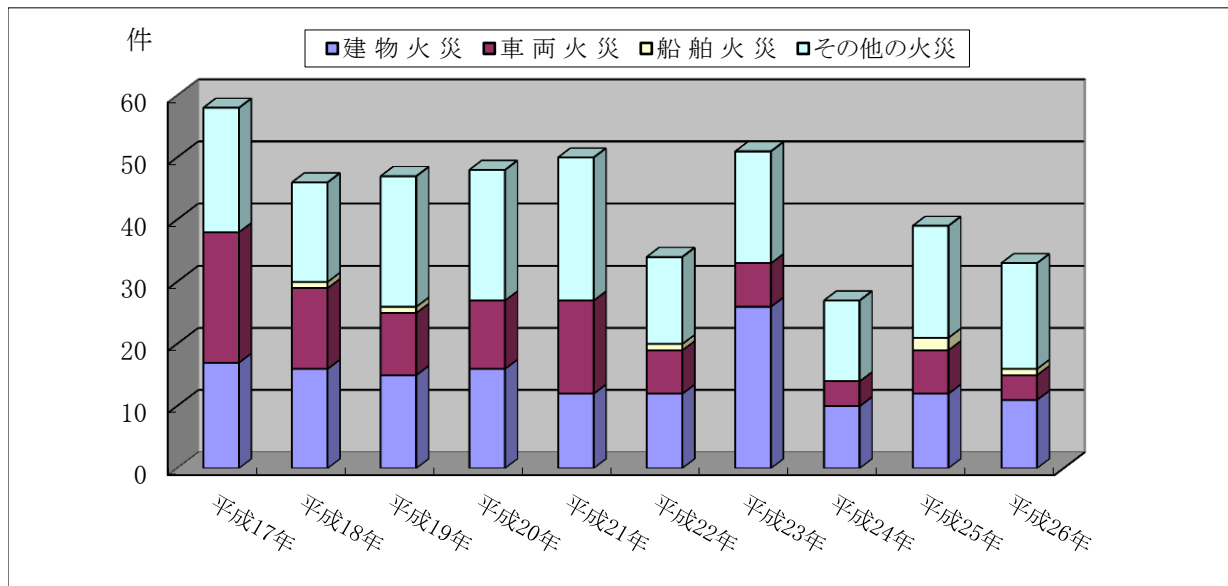
ドクターカーの出動件数は９２件でした。

種別 市村別	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損	急 病	そ の 他	計
弥 富 市	24		1	202	90	15	221	3	21	1, 167	151	1, 895
飛 島 村	10			79	85	3	40	1	1	173	10	402
管 外				19	2		4			18	60	103
計	34		1	300	177	18	265	4	22	1, 358	221	2, 400
本署隊 (内管外)	2		1	120 (10)	70 (1)	9	101 (1)	1	5	464 (4)	75 (4)	848 (20)
分署隊 (内管外)	18			113 (5)	32	5	139 (3)	1	16	816 (14)	96 (56)	1, 236 (78)
出張所隊 (内管外)	14			67 (4)	75 (1)	4	25	2	1	78	50	316 (5)
ドクターカー	1			6	17		5		2	60	1	92

過去10年間の火災件数の推移

単位:件

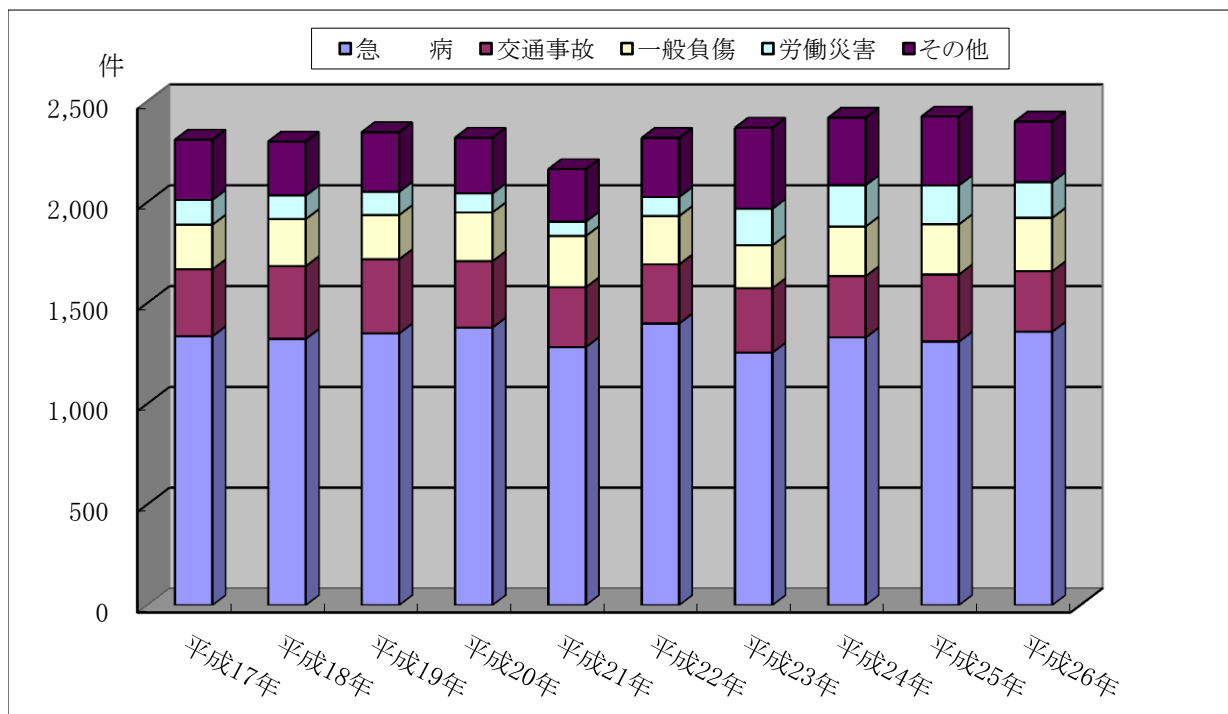
種別 \ 年別	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
建物火災	17	16	15	16	12	12	26	10	12	11
車両火災	21	13	10	11	15	7	7	4	7	4
船舶火災		1	1			1			2	1
その他の火災	20	16	21	21	23	14	18	13	18	17
計	58	46	47	48	50	34	51	27	39	33



過去10年間の救急件数の推移

単位:件

種別 \ 年別	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
急病	1,336	1,323	1,350	1,379	1,282	1,399	1,255	1,330	1,309	1,358
交通事故	332	361	368	329	297	293	319	304	333	300
一般負傷	221	233	219	242	254	240	213	246	249	265
労働災害	123	117	115	94	71	94	181	205	193	177
その他	298	267	295	276	260	293	401	334	341	300
計	2,310	2,301	2,347	2,320	2,164	2,319	2,369	2,419	2,425	2,400



消防救急デジタル無線の運用開始

消防救急無線は、アナログ150MHz帯の無線を使用していますが、テレビのデジタル化と同様に消防救急アナログ無線についても平成28年5月が使用期限とされています。海部地方の消防本部（津島市、愛西市、蟹江町、海部東部消防本部、海部南部消防本部）は、この消防救急無線のデジタル化についても共同で整備、運用していきます。

平成26年度は、消防救急デジタル無線の整備工事を実施し、海部地方の基地局設備として、海部地方消防指令センター、津島市消防本部、海部東部消防組合の3か所の基地局が完成しました。

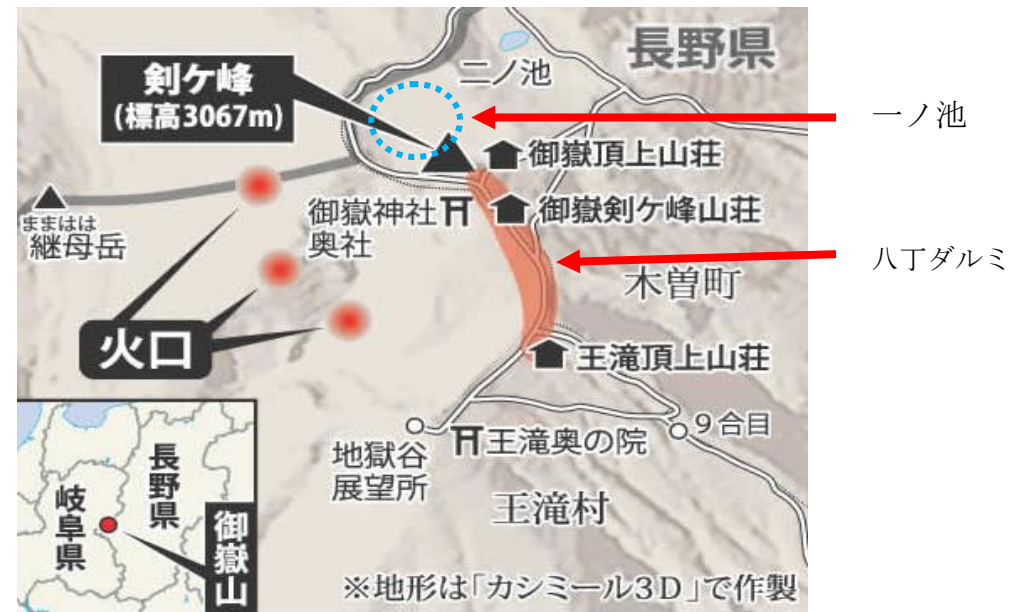
平成27年2月から試験運用し、平成27年4月1日から運用を開始します。

海部地方消防救急デジタル無線基地局配置図



御嶽山噴火災害における緊急消防援助隊愛知県隊としての活動

- 噴火日時
平成26年9月27日（土）午前11時52分頃
- 被害の状況
平成26年10月23日（木）午後3時 総務省消防庁発表
死者57名、負傷者69名、行方不明者6名
緊急消防援助隊で59名救出
愛知県大隊 … 生存者6名（9月28日）、心肺停止11名（10月1日）
- 海部南部消防組合の派遣隊数及び派遣期間
救助隊2隊 10名
第11次派遣隊 平成26年10月4日から10月7日まで
（台風18号の影響により、10月5日及び6日は現地で待機）
第20次派遣隊 平成26年10月14日から10月15日まで



自衛隊の大型輸送ヘリで一ノ池まで移動
（一ノ池の標高2,990m）



急斜面を登ること約1時間
（御嶽山山頂標高3,067m）



山頂付近に辿り着いたところには、救助服が膝まで泥だらけになる。鼻を刺すような硫黄の臭いがする。



剣ヶ峰山荘は、噴石により屋根や壁に大きな穴が複数開いている。



誰も歩いていない所では膝まで簡単に埋まってしまう。移動にも時間がかかる。



地面に棒を刺し、感触を確かめ、行方不明者の救出に当たる。



雨を含んだ火山灰は想像以上に重い。



台風の影響で雨を含み火山灰は、泥濘化している。



足元が悪いため、各隊が協力し、要救助者を慎重に搬送する。

平成26年度 全国統一防火標語



もういいかい

火を消すまでは まあだだよ



平成26年度 危険物安全週間推進標語

危険物

読みはまっすぐ ゼロ災害